

《担当者名》 明野 伸次 akeno@hoku-iryo-u.ac.jp 神田 直樹 kanda@hoku-iryo-u.ac.jp
 生命基礎科学：西 基 濱田 淳一 守田 玲菜
 基礎・統合看護学講座：明野 伸次 横川 亜希子 米川 弘樹 福井 純子 竹生 礼子 川添 恵理子 増田 悠佑
 明野 聖子
 生涯発達看護学講座：桑原 ゆみ 唐津 ふさ 熊谷 歌織 高木 由希 伊藤 加奈子 内ヶ島 伸也 若濱 奈々子
 船橋 久美子 木浪 智佳子 川崎 ゆかり 谷本 真唯 常田 美和 野崎 由希子 八木 こずえ 宮地 普子 中
 安 隆志

【概要】

既習の諸学を通して得た知識を活用しながら看護実践を研究的視点で捉え、研究テーマに発展させる力を養うために、研究計画作成までの過程を学ぶ。

【学修目標】

1. 講義・演習ならびに看護学実習の体験から探求したい関心領域を見いだす。
2. 見いだした関心領域について、研究の可能性などを見極めて研究テーマを絞り込む。
3. 研究テーマに関連した文献を検討し、研究の目的を明らかにする。
4. 研究目的に適した研究方法を選択する。
5. 指定の構成内容や様式を満たした研究計画書を作成する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	看護研究の意義	看護研究の意義と課題 研究倫理	木浪 智佳子
2	看護研究の方法	研究過程の概観 臨床疑問から研究疑問を絞り込むプロセス	明野 伸次
3	看護研究の方法	研究方法の選定 : 量的研究	明野 伸次
4	看護研究の方法	研究方法の選定 : 質的研究	明野 伸次
5	看護研究の方法	文献検索の方法	明野 伸次
6	看護研究の方法	クリティークの方法	明野 伸次
7 } 60	看護研究の実際	講座・研究部門ごとにゼミナール形式で卒業研究に取り組む	全担当教員

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

- ・評価・単位認定は、各講座・研究領域の指導教員が行う。
- ・取り組みの姿勢、発表、研究計画書を総合的に評価する。

【教科書】

南裕子・野嶋佐由美編：看護における研究第2版，日本看護協会出版会，2021。

【参考書】

- 1) 黒田裕子：黒田裕子の看護研究 step by step, 第4版, 医学書院, 2017.
- 2) ホーリッドD.F., アックC.T., 近藤潤子(監訳)：看護研究 原理と方法, 第2版, 医学書院, 2010.
- 3) プリンクP.J., ウッドM.J., 小玉香津子・輪湖史子(訳)：看護研究計画書作成の基本ステップ, 日本看護協会出版会, 1999.
- 4) 松木光子・小笠原知枝：これからの看護研究 - 基礎と応用, 第2版, 廣川書店, 2012.

- 5)横山美江編：よくわかる看護研究の進め方・まとめ方，量的研究のエキスパートナースをめざして，第2版，医歯薬出版，2017..
- 6)グレッグ美鈴編：よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 看護研究のエキスパートを目指して，医歯薬出版，2016.
- 7)酒井聡樹著：これからレポート・卒論を書く若者のために，第2版，共立出版，2017.
- 8)前田樹海著：臨床ナースから看護研究まで 研究発表のプレゼンもっとよくなります！，日本看護協会出版会，2016.
- 9)井部俊子：看護師のための文章ノート，日本看護協会出版会，2018
- 10)小笠原喜康：新版 大学生のためのレポート・論文術，2018.

【備考】

- ・授業の出席確認やフィードバックシート（質疑・意見等）は，Google Formsを活用する（1～6回目）。

【学修の準備】

以下の予習・復習に取り組む（1時間）

- ・教科書の該当箇所を読んでくこと、ゼミに必要な資料を作成し学修の準備をすること。
- ・教科書、資料を読み直す、ゼミ内容を振り返り学修を深めること。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

DP1. 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP2. 看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP4. 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

DP5. 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている

【学習の進め方・作成要領】

1. 学習の進め方

- 1) 看護研究の意義と方法に関する講義および演習を受ける。
- 2) 講座・研究部門ごとにゼミナール形式で卒業研究に取り組む。
なお、研究に要する費用はすべて自己負担とする。
- 3) 講座・研究部門ごとに発表会を行う。
- 4) 研究計画書を提出する。

提出期限：2024年12月2日（月）17：00（厳守）

提出先：学務部看護福祉学課

2. 作成要領（手引き参照）

1) 研究計画書の構成内容（参考例）

- ・序論（問題提起、研究の意義・背景）
- ・文献検討
- ・研究目的
- ・方法論（概念枠組み、
- 研究仮説、対象の選定方法、データの収集方法、測定用具、分析方法など）
- ・倫理的配慮
- ・文献リスト

2) 作成様式

- (1) フラットファイル（A4判、左横とじ、色はブルー）に、以下の順でとじる。
抄録、研究題目、目次、序論、文献検討、研究目的、方法、倫理的配慮、文献、図、表、資料
- (2) 下の図を参考に、フラットファイルには表紙・背表紙をつける。
- (3) 抄録は、800字程度とする。
- (4) 研究計画書の書式は、下記に従う。
A4判用紙 35字×28行 10枚程度
余白は、上下30mm、左35mm、右20mm

【実務経験】

看護師、保健師、助産師等の資格を有する教員が指導にあたる。

【実務経験を活かした教育内容】

医療現場での実務経験を活かし、看護実践を研究的視点で捉えた研究テーマを探求し、実行可能性のある研究計画書を作成するための教育を行う。

【表紙・背表紙の作成様式（参考例）】

研究題目

指導講座・研究部門

提出年月日

学生番号

学生氏名

指導教員

研究題目

学生番号
学生氏名